夕刊
磐城新聞
五月十一日發行
定價 一ケ月金六拾錢 五拾錢 廣告料金 一行金六拾錢 五拾錢 (郵稅拾五錢) 發行所 磐城新聞社 (電話磐城一〇六五五八番) 東京出張所 (電話銀座一〇六五五八番) 日曜祭日 翌日休刊

磐城の獅子舞研究(三)

山口彌一郎

9、奉納する神社、廻る家

奉納する神社、寺院は内郷村白水、同高坂、草野村北神谷の如く一に限られて居る場合もあるが、坂下、中山にて[illegible]

[illegible]

名瀧[illegible]神社には奉納、平市下平窪にては諏訪神社奉納後三社詣でとて、辨天、天滿宮、秋葉神社にても舞ふ。同上平窪にては宵祭[illegible]

樂師十二社に奉納し、祭[illegible]には滿願寺と八重垣神社へ奉ずる。玉川村住吉のし舞が古くは小名浜の諏訪神社へ奉納され「住吉のし」が上ると豐漁である」と寄ばれ、一行四十人が小名浜に一晩泊つて來た由である。現在は同村岡小名のしし舞が小名浜の諏訪神社へ奉納される。又神社に奉納後主なる民家を廻るもの多い。高久村八幡にては宵祭に八幡、八劔、二荒の三社を廻り、祭日には氏子總代八人と區長、神主の十戸を廻るので時間を多く要し、神社以外は一部のみ舞うてゐる。泉村瀧尻にても諏訪神社に奉納後主なる民家を廻る。飯野村白土、同中山等でも昔は村廻りを行つたと言ひ内郷村住吉にても古くは獅子と稱し惡魔退散、村内安全を願つては村内戸毎に廻つた由である。夏井村菅波にては舊七月二十三、四五日の三日間獅子舞を行ふ。その奉納する神社を回[illegible]

[illegible]

獅子舞[illegible]に依つて掲げ[illegible]

中山にて[illegible]

[illegible]

[illegible]ば次の如くになる

舊七月二十三日

宿前　草獅子一

庭

大國魂神社前　草獅子一

庭、外に神酒一つ供へ

大神宮前　草獅子一

庭

天恩社德正一位稻荷神社前　草獅子一

庭

大樂寺前　草獅子一

庭づつ

同二十四日

大國魂神社　庭廻り、神酒一つ供へ

宿前　草獅子

弓獅子各一

庭づゝ

愛宕神社　草しゝ一庭

東福院　草しゝ、牝しゝ各一庭づゝ

湯殿神社　草しゝ、牝しゝ各一庭づゝ

八坂神社　草しゝ一庭

雜詠

——某地病院ニテ——

宇佐美定晴

一、外つ國に務果たして逝きにけるひとのみ靈に願うな垂る

一、傷つきし或ひは病むも兵を勞はも看とる白妙のひと

一、不自由を凌ぎてすがる松葉杖、彼の姿ぞ日本の華

一、年替り月も過ぎにし今こゝにあの日懷ひてしばし佇む

一、逝く春を惜しむが如く夕雨の哀をさそふ若葉に濡れて

ツその日

○裏川や八重山吹のなだれ垣　野風呂

講談

恩讐無道

(97)

久我莊多郎

香川三十代藩

■人の巻■

呼ぶ渦紋(三)

△日蓮上人伊豆に配流(弘長元)△赤十字社の創立者ナイチンゲール生る(一、八二〇)△ドイツ正式に滿洲國承認(昭和一三)

5月12日

十字社の創立者ナ

[illegible]

日射しをさへぎつた[illegible]に、氣付いたが慎吾は、目を上げて、

『おゝッ』

と、椅子から放れて、[illegible]江を迎へた。

茅江が、白い額の汗を拭ひながら、

『御免下さい』

と御辭儀をするより先、背中の專之助が、

『小父さん』

とか何とか、片言でいつたやうである。

慎吾は、人のいゝ笑ひを專之助に振向ける。

『專坊。よく來たなあ』

『離波さま。お辨當を持つてまゐりましたが……』

『恐縮々々』

實際に、恐縮に耐えないといふやうに、二三度頭を

『降してやんなさい。ちゃ[illegible]さん』

『はあ——でも……』

『いゝのです。構ひません[illegible]なアに、わたしも閑なんだから……』

こんな場所で遊んでいゝのかと、ためらつてゐるちゃ[illegible]だと知つて、しん吾は、朝ちゝくわらつた。專之助はいよ〳〵むづがる。

『では……』

と、仕方がないから茅江も、帶をといて慎吾の腕へ專之助を降ろした。

專之助は、キャッ〳〵と天喜びである。

[illegible]ばらく見ると、長州藩[illegible]といふこの若い[illegible]人物の[illegible]さが、茅[illegible]

[illegible]

[illegible]

風薫る宮城前廣場
晴の御親閲を拜す
磐中平商代表廿日上京

來る二十二日宮城前廣場に於て行はせらるる『陸軍現役將校配屬令公布十五年』の御親閲に關しては市内二中等學校生徒代表も晴の參列をなす旨既報の如くであるが愈々來る二十日夕刻磐中は淺水校長、近藤教諭、鈴木教官。平商は服部校長、官澤教諭、藤井教官が引率、左記各校十名宛合計二十名が北部各縣を經過し來る特別仕立ての列車で出發する事となつた、尚は一行は着京翌二十一日豫行演習の上二十二日光榮に輝く御親閲を拜する筈である。

（磐中）＝佐々木清、小野勝三、鍵谷健三、志賀泰、鮫岡明、今田實、松崎惣兵衛、新妻賢司、星敏之、肥田木敏夫

（平商）＝鈴木道榮、松本博美、牛久泰志、中野一、市毛美德、酒井精二、小野正雄、吉田正治、小原鏈次郎、五十嵐進

總裁宮御殿に御召
軍人援護會への篤志者に有難き御沙汰

恩賜財團軍人援護會總裁朝香宮殿下におかせられては同會事業資金として多額の寄附を完納した人々を五月十六日御殿に御召に成り御言葉を賜はり御陪食、御下賜品を賜はる旨有難き御沙汰あらせ給ふたがこの光榮に浴する地方の人々は左の如く何れも光榮に感激してゐる

△平市百瀬易興、諸橋久太郎、高階一郎△湯町入山採炭株式會社坑務所代表大貫經次△好間村石河會議の決議を陳情の上明十二日歸應する豫定

卒業期過ぎても
求人、押すなく
息つく暇ない紹介所

平職業紹介所の學校卒業生求人斡旋は甚しい人不足に惱みながらも漸く一段落を出しに努めて居るが時局關係以外の一般工場員等は折角の採用試驗もお流れになる程の『人飢饉』で、きのふも某會社の求人貼り出しの旺盛さに所員一同汗だくを書きながら『地元さへ未だ片づかないところがあるのにこの始末ですよ……』と吏員がコボしてゐた

代表下野十朗△△小名濱町大平勳△好間村小田吉治△内郷村佐藤三平

青沼市長陳情
全國市長會の歸路内務省等へ

去る四日から熊本で開かれた全國市長會議に出席した青沼平市長は歸路東北代表市長らと共に内務省其他關係方面に過般市公會堂で開かれた東北六縣北海道市長會議の決議を陳情の上明十二日歸應する豫定

〔〕の態で直に各方面の紹介所や委員と連絡專心狩も

鮫川竣功檢査
植田方部水田の動脈として地元民の待望久しき鮫川堰

通水式は今月下旬植田方部水田の動脈として地元民の待望久しき鮫川堰は竣工報の如く去月末を以て一切の工事を終へたので今十一日から三日間亘り縣耕地課立山技師によつて竣功檢査を行つてゐる、通水式は今月下旬になる見込み

期間内申告八割強
市郡下の該當營業者が出した最初の飲食遊興税届

市郡下の該當營業者が出した最初の飲食遊興税届は竣工報の如く去月末を以て一切の工事を終へたので今十一日から三日間亘り縣耕地課立山技師によつて竣功檢査を行つてゐる、通水式は今月下旬になる見込み

三強豪と一戰（中商グランド開き）

過ぐる縣下中等學校選抜野球大會の覇權を獲得有望な將來を約束されてゐる平商體育陣をもつと健全なものに育て上げ、一は銃後体位向上の國策に沿ふべく此程同窓關係者が相寄つて『我商業、茨城中學、磐城中學等の体育部後援會』が結成され、明後十三日午後六時萬全の陣容を整へる、新グラウンドのバックネットも出來たのでこの二十八日頃グラウンド開きとして水戸行、明後十三日午後六時變へることゝなつた。

植田氷菓組合總會　植田署管内二丁八ケ村のアイスキャンデー組合では十日午後一時から同署に總會を開き、特に腸チフス豫防につき植田署長の訓示あつた

地方人口眞面目
申告の好成績に就て

平税務署　岩崎間税課長談

東京市内などの申告成績が内で八割強の申告を見たのは關係營業者との懇談會なども車前の理解徹底が稍々理想的に行はれた結果ともいはれる一面幾分銃重の傾向あることは云ふものの一度頭へ入れると能く之を守り通すと云ふ地方人の醇朴な資質が極めて眞面目な非常時意識となつて現はれた結果とも觀る事が出來る

放火を否認
けふ川部敏諭公判

川部村青年學校敏諭蛭田喜一（四二）に於ける放火事件の公判は十一日金裁判長で平支部に開廷したが蛭田は植田署から『以前やつた家宅侵入罪は追究せぬから自白しさも考へず身に覺えのないことを自供したと徹頭徹尾犯行を否認、證人申請あつて正午休憩、午後一時續行した、十二日再開

濱三郡で約五百頭か
時代の寵兒緬羊現地買上
明後日平團体事務所で執行

軍需品として時局柄需要の旺盛な緬羊飼育熱は地方に於ても郡農會等が斡旋の下に組合を結成内容の強化につとめて居り茲二、三年來これが現地買上げが行はれてゐるので飼育者一同の張り込みも大きい、今年度の買上は明後十三日平團体事務所で行はれるので郡農會では郡内農村をはじめ双相兩郡農會を通じて飼育者に呼びかけてゐる

明十二日縣並に陸軍製絨所の役員が出張賣却希望を受付けるが今のところその數量は郡内で三百五十頭分、双相二郡を合せて約五百頭に上る見込みである

書畫骨董賣立
あすから公會堂で

東京新興美術社、國華美術倶樂部主催で某家秘藏品七百余點の書畫骨董賣立會を十二、十三兩日市公會堂日者の受付け點呼等滯り無く本間に開く、兩日共午前中深更十二時近くに及んで散會、屋料理店の公休とあつて新田町界隈一行八十名が成田參詣の團体旅行に出かけた昨十日は、先月一日から實施された所謂石渡增税＝飲食・遊興税＝最初の申告締切り日だつた。如何に國民貯蓄を訴へても素晴らしい軍需景氣の餘波から消費を徹底的に抑制出來ないのは去る花どきに於ける此の方面の景氣が、當局が密かに蹤面する程だつた實績に徴しても蓋し想ひ半ばに過ぐるものがある程でこの骨休日の公休もさてこそその骨休めと領かれぬでも無いが、實際の景氣は果してどうであるか、之の反映を該税（玉代には二割、飲食には一割を總金額五圓以上の場合に課税する）實施後第一回の申告に就て見ると管内の該當營業者三百四十八名中昨十日の期間内に課税標準の申告をなしたるもの全体の八割強相當する二百七十八名の内容等に就ては昨十日付の

彼らの退治に成功
日を追ふて明朗化
紺屋町出身　松田一君（通信）

九江上陸以來瑞昌、陽新と激戰を展開世界的に有名な大冶鐵山を抜き、駒を武昌に進め武漢三鎮を占領、武昌に警備滯在、武昌を陥落させる迄には幾多の（略）骨肉を削るの思ひにて過る日を思へば感慨無量なる何物か湧いて參ります。

其後○○に異動當地第一貴紙御恵送に預かり厚く御線警備傍々敗殘兵討伐に出動到る處に日章旗翻り此れが撲滅に成功一日を追ふて明朗化せるに立ち至る迄になりつつあり、土民達も自業に夫々勵みつつあります此後の戰闘を待期中で御座います、先は取り敢えず御（略）當地桃李既に散り麥畑スリルもかなと思つても寒風やつつ音響く處まで

陣中を聽く
紺屋町出身　松田一君（信）

御一同様に禮申上げます。益々御健勝の御事と御遠察申上げます。

願みれば應召以來半年に亘り銃後の皆々様に御無音さて今回は福島に打ち過ぎましてお申し譯御座いません。

何時に變らぬ御一同様の御後援只々感激の外御座いません。簡單乍ら近況御知らせ致します。

現地も更衣
湯本町出身　藁谷軍醫少佐

『陣中を聽く』欄、結構なることです、尚は擴充されん事を御願ひします。併し（略）第一線は勿論戰地からも思ふ様な通信出來ず、（略）第一線は勿論戰地から御座いません。

御一同様の御後援只々感激の外御座いません。簡單乍ら近況御知らせ致します。

書畫骨董賣立廣告

某家秘藏の書畫骨董品を引受け左の如く賣立ます。處分品ですから價格も無親して投賣する覺悟です

一、會期五月十二日（金）十三日（土）二日間（午前中下見午後十時迄競賣）入場隨意

一、會場　平市公會堂日本間

主催　東京新興美術社　國華美術倶樂部

寫眞展入賞

去る一日から十四日迄東京小西ホールに開かれた東京寫眞研究會主催第二十八回展覽會に平寫友會から『愛國行進』梅崎安正『海邊小景』草野央の兩氏が入選した、草野氏の『海邊小景』は過般マルトモで開かれた展覽會に箭山賞を獲得した秀作であるこれを賄ふことが不可能なので目下當局に於て對策を調じてゐる

新刊紹介

△氏子青年（第三號）湯本町出身である東白川郡近津村國幣中社都々古別神社佐波古直胤宮司が『兎の耳と禮儀作法』と題し深遠な神の攝理を通俗に叙へたるもの、本紙上に近く連載の豫定（非賣品、同社務所發行）

十二日

【な名潮側候所觀側】

潮前　七、五五　千潮前　二、三〇
潮後　一〇、一五　後　二、四五

▲一白　眞面目にして外を飾らず内に勤めば大吉日▲二黑　力を竜らず進み過ぎて却つて失敗を招く日▲三碧　運氣開發の良日なれども感情の衝突は注意▲四綠　巡ひのくもに閉されて進退の自由を得ざる日▲五黄　秋じよう大切に變事に當り動せざる樣すべし▲六白　本和を保つが第一口舌は巷の禍びを引起す▲七赤　榮譽を夢みるよりも内を整ふが安全なり▲八白　調子能く行くかゝ思ふ間もなくくつがへり易き日▲九紫　目上の引立は十分あれど依頼心を起す勿れ

青年學校生激增
賴もしい現象乍ら當局對策に苦心

平第一青年學校の入學式は會したが生徒數は從來の在昨十日午後七時半から學行したが至つて少數と觀た豫想に反し參集者が七百餘名の多數に上つた爲め第一校庭の會場を急に公會堂に變更並に警防團新發足、これに伴ふ十四年度豫算更正を附議することに決定

富田君陣歿　市内二

丁目出身鶴岡部隊富田行雄君は去月九日戰病死した旨部隊長から市役所に入電あつた、同君は古着商茂八さんの次男で磐中出身、出征前まで家業を扶けてゐた

耕地課會計檢査　縣耕地課では九日から三日間平團体事務所で地方に於ける關係方面の會計檢査施行

根本産婦人科醫院

（病室完備入院隨時）

平市南町五二　根本莊次郎　根本貞雄　電話三四番

耳鼻咽喉科專門
レントゲン科
高柳醫院

醫學博士　高柳博明　平驛前　電三三六

書畫骨董賣立

外科一般　内臓外科　レントゲン科　泌尿器科

北川外科

血液檢査毎日　◎入院隨時　平市新川町〔電四六四〕　醫學博士　北川芳夫

難波醫院

内科　小兒科　入院應需　自炊の便あり　平市大町　電話五〇二番

（看護婦見習、看護婦募集）

醫學博士　難波陸

故障の起らぬ
自のラヂオ

擧つて國防…揃つてラヂオ　ラヂオは是非——

専門店……へ

原口無線電機株式會社代理店

古山電氣商會

平市二丁目（警察署通り）　電話（呼出）166

おでん、やき鳥

小鳥燒も初めました。

お酒のあとに　おけさめし

おでん　茶めし　酒の家

味郷

平市三田小路（三丁目裏）